

学習展開例（第1学年 美術）

担当（谷）

教科書の 順番	学期	単元名	領域	学習目標	標準時数	学習展開例		想定時数
						学校（みんな）ですること	家（一人）ですること	
1	1	感じたことを話し合おう	鑑賞	作品を見て感じ取ったことを話し合い、見方を広げる。	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭でイメージしたものを基に、お互いで話し合い、自分と同じ考え方や異なった見方等に気付く。</li> <li>・三沢厚彦のスケッチブックや作品を鑑賞し、自分の感じたことを伝え合う。また、スケッチブックの使い方を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵から感じたことや小学校までの、図画工作科で行ったことなどを思い出し、自分のイメージを自由に書く。</li> </ul>	
2	1	美術って何だろう？	鑑賞	自身の経験を振り返りながら作品を見て、感じ取ったことを話し合う。				
18	1	発想のためのスケッチブック 三沢厚彦	鑑賞					
7	3	見つけた、触れた、ひらめいた！	絵・彫	素材の形をいろいろな角度から観察し、何かの形に見立てたり、素材を組み合わせたりして、発想する。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケッチを見せ合い、自分の見え方、感じたことを伝える。</li> <li>・学校にあるものを選び、友達とアドバイスをしあいながら、自分の決めたものを見て描く。</li> <li>・出来上がった作品をお互いに鑑賞し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にある材料を集め、いろいろな角度から観察し、スケッチを行う。</li> </ul>	
3	1	見て描く楽しみ	絵・彫	身近なものを見つめ、感じ取ったことを大切に、材料や用具の生かし方を考え、工夫してあわす。				
12	1	絵文字がしゃべりだす	デ・工	平面や立体の絵文字を、材料や用具の生かし方を考え、工夫してあわす。	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字の形や意味から、いろいろな文字の表し方を知る。</li> <li>・自分で下書きした文字に着色するために、筆等道具の使い方を知る。</li> <li>・飛び出すカードの仕組みを知り、自分の作りたい工夫を考える。</li> <li>・自分の気持ちを伝えたい相手に気持ちが伝わるよう、文字や仕掛けを工夫したカードを製作する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の表したい文字を選び、工夫した文字を下書きする。また、どんな場所だから、どんな文字を作成したのか、使う目的や意図などを考える。</li> <li>・自分が気持ちを伝えたい相手と、伝えたい内容や文字の工夫を考える。</li> </ul>	
11	1	文様、飾りの小宇宙	デ・工	形や色の組み合わせなどを工夫して構想を練り、使う目的や意図、場所などを考えてあわす。				
13	2	気持ちを伝えるデザイン	デ・工	身近な人を喜ばせたいという気持ちを基に、形・色彩・材料や動く仕組みなどを工夫して、飛び出すカードや形の工夫された手紙、メッセージボックスなどをつくる。				
4	1	心安らく私の風景	絵・彫	風景のどこに心引かれたのか考えながら構想を練り、鉛筆や水彩絵の具などの使い方を工夫して描く。	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロッキーについて知り、お互いにポーズを取り合い、人物クロッキーを行う。</li> <li>・絵の構図や全体とのバランスのとり方を知る。</li> <li>・自分の見つけた風景を鉛筆や水彩絵の具等で表し、自分の心が安らぐ場所を友達に紹介する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケッチブックに、家族の人のしぐさをクロッキーで描いてみる。</li> <li>・自分の心が安らぐ風景を見つける。</li> </ul>	
5	2	人のしぐさを捉える	絵・彫	クロッキーやスケッチを通して人物のしぐさや表情などの特徴を捉える力を身につけるとともに、身近な人物をあらわすためのポーズや構図、色などを工夫する。				
9	2	特別展示室 風神雷神、自然と人と	鑑賞	彫刻の写真と詩人による自由な想像との交流を楽しんだり、彫刻と屏風絵を比較したりして、日本の美術のもつ表現の豊かさを味わう。	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の作品を鑑賞し、日本の美術のもつ表現を見つけ、自分の感じた日本の美術の繊細さや力強さを伝え合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着物や扇子など、身の回りで自然や季節の美を取り入れている日本の美を感じるものを探す。</li> </ul>	
10	2	自然とともにある日本の美	鑑賞	図像の伝承や屏風絵の特性、自然や季節感の表現などを手がかりに、日本の伝統的な美術について関心をもつ。				
6	2	写してあわす版画の魅力	絵・彫	木版画や紙版画など、同じ凸版でも材料の違いによって表現や味わいが異なることを感じ取ることを通して、版画の特徴や魅力を理解する。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステンシル版画の摺り方を知り、ステンシル版画の技法を使って表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が版画で表現したい物を考える。</li> </ul>	
8	3	形を丸ごと感じてみよう	絵・彫	対象のもつ特徴や質感を感じ取るとともに、試行錯誤しながらより効果的な表現方法を探究する	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にあるものを見たり触ったりしながら、紙粘土で表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来上がった作品を家族に見せたり、触ってもらったりして、本物と比べてみる。</li> </ul>	
15	3	生活の中の焼き物	デ・工	カップや皿などの焼き物をつくって使う一連の活動を通して、美や独創性と、機能や生活との関係を考えるなど、見直しをもって焼き物をつくる。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火焰型土器の鑑賞を行い、表面の工夫や装飾がなぜ施されているのかを、お互いに伝え合う。</li> <li>・生活で使いやすい形や、楽しくなる色や装飾を考え、世界に一つだけの焼き物を製作する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完成した作品を実際に使い、自分や家族の感想を聞いてみる。</li> </ul>	
16	3	原寸大で鑑賞しよう 火焰型土器	鑑賞	指の痕跡まで感じられる原寸大の火焰型土器を細部まで鑑賞し、施された装飾の特徴やつくり方の工夫について話し合う。				
17	3	アジアをつなぐ仮面の舞	鑑賞	日本、アジアの国々のさまざまな地域の歴史と風土の中で培われてきた文化の特質について、仮面の造形をテーマとして鑑賞する。	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感じ取った特徴を、お互いに伝え合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮面や衣装の色や材料等を鑑賞する。</li> </ul>	
14	2	木のぬくもりと暮らす	デ・工	用途や機能、使う人の気持ちを考えて構想を練り、加工や塗装で使用する用具を正しく使う。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料の木に触れ、どのようなものを作りたいのか、自分の作りたい物を考える。</li> <li>・スケッチを基に、木製の作品を制作する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の作りたい作品のイメージをスケッチブックに表現する。</li> </ul>	
適宜		学習を支える資料		必要な時にいつでも使用し、自分のイメージした作品作りに役立てる。				
					45			

・「想定時数」は、学校ですること（授業）の時数とする。